

|          |                                                                      |
|----------|----------------------------------------------------------------------|
| 研究<br>主題 | 自己を見つめ、道徳的価値についての理解を深める授業を目指して<br>－交流メモの活用から考えの深まりを感じさせる振り返りの工夫を通して－ |
|----------|----------------------------------------------------------------------|

## 第2学年道徳科学習指導案

指導月日 令和3年10月20日  
所属校名 松島町立松島中学校  
氏名 植松 信行

- 1 主題名 自分を信じて生きるとは「D よりよく生きる喜び」  
教材名 「本当の私」（東京書籍 新しい道徳2）

### 2 主題の目標

自分の弱さに向き合い、それを乗り越えた主人公の生き方に共感させることを通して、人間としての強さや誇りを持って生きていこうとする道徳的心情を育てる。

### 3 主題観

本主題は、中学校学習指導要領（平成29年告示）特別の教科 道徳の内容「D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」の「よりよく生きる喜び 人間には自らの弱さや醜さを克服する強さや気高く生きようとする心があることを理解し、人間として生きることの喜びを見いだすこと」を受けて設定している。

人間は誰でも、自分に自信が持てなかったり、劣等感に悩んだり、誰かを妬んだり、恨んだりすることがある。しかしながら、それらを克服したいと願う心を持っている。それらを乗り越え、自分に誇りを持つことができたとき、人間として生きることの喜びに気付くことができる。そして、人間として生きることへの喜びや人間の行為の美しさに気付いたとき、強く気高い存在になり得るのである。

中学校の段階では、学年が上がるにつれて、崇高な人生を送りたいという人間の持つ気高さを求める心が強くなっていく。人は誰でも人間らしい良さを持っていることを認めるとともに、誰に対しても人間としての良さを見いだしていこうとする態度が次第に育ってくる。指導に当たっては、自分を奮い立たせることで目指す生き方や誇りある生き方に近付けるということに目を向けられるようにする必要がある。さらに、生徒が自分の弱さを強さに変えられるという確かな自信を持ち、自己肯定でき、よりよく生きる喜びを見いだせることが求められる。自分の弱さにしっかりと向き合い、克服することが、よりよく生きることへつながることに気付かせることが大切であると考えた。

### 4 生徒の実態（第2学年3組 男13名 女14名 計27名）

事前のアンケートでは、「自分には弱いところがあるか」という問いに対して、25人の生徒が「ある」と答えている。また、「自分には良さ（強さ）があるか」という問いに対しては、16人、「自分以外の人には良さ（強さ）があるか」には、26人の生徒が「ある」と答えている。このような結果から、本学級の生徒は、人間には強さと弱さの両面を併せ持っていることを理解できていることがうかがえる。次に、「よりよく生きるとはどのようなことだと思うか」という問いに対しては、「自分らしく生きる」や「楽しく生きる」という答えが多かった。また、「自分を見つめ直す」や「自分の短所を直す」という回答も見られたことから、弱さに打ち勝とうとすることが自分に恥じない誇り高い生き方につながると認識している生徒もいることが分かる。

## 5 指導観

自分には弱さがあると実感している生徒が多いことから、弱さや醜さを強調し過ぎることで、自信をなくしたり、劣等感を感じ過ぎたりしないようにする必要がある。教材を通して、主人公は自分と同じように弱さがあり、その弱さと向き合い、乗り越えた強さに気付かせる。主人公の生き方に共感させることを通して、人間としての強さや誇りを持って生きていこうとする道徳的心情を育てたい。

導入では、本時のテーマである、「よりよく生きる」とはどのようなことかを考えた後に、教材に入っていく。中心発問では、個人で考えた後、小グループで交流し、全体での交流という流れで互いの考えを共有していく。少しずつ交流の範囲を広げることで、学級全体で互いが発言できる雰囲気をつくっていく。さらに、級友の考えに触れることで、様々な立場や価値から、自分の弱さを克服することが、「よりよく生きる」ことへつながることに気付かせたい。展開後段では、自分のこととして考えさせるために、「自分にとって『よりよく生きる』とはどのようなことだろう」を問う。導入段階のテーマに対する自分の考えから深まりがあったかどうか振り返ることで、人間として生きることの喜びをより強く実感させたい。

## 6 研究主題との関連

### (1) 交流メモの活用

道徳的価値について考えさせる際に、生徒がそれぞれの考えを伝え合うことを通じて、いろいろなものの見方や考え方があることに気づき、多面的・多角的な見方や考え方に触れさせていく。導入では、本時の道徳的価値について自分の考えを思い付くだけキーワードでメモをさせる。教材の様々な視点や価値から考えさせるために、ここでは文章ではなく、キーワードで多く考えを出させるようにする。その後、小グループ内で友達と交流をする。その際、自分にはなかった考えや新しい気づきについてメモさせる。交流の際、キーワードを手掛かりに、詳しく自分の考えを説明させる。最後に、自分の考えと友達の考えの両方のメモを参考にし、自分の考えを改めて文章で書き表させる。

交流メモは、出された多くの考えの異同を整理、再考させ、新しい見方や考え方を生み出したり、考えを深めたりするために活用させたい。

### (2) 導入時の考えからの深まりを感じさせる振り返りの工夫

導入場面において、本時の考えさせたい価値についてのテーマをワークシートに記入させる。そして、そのテーマについて現時点での自分の考えを書かせることで、道徳的価値についての問題意識や興味関心を持たせる。次に、展開場面の交流メモを活用し、友達の考えから、新しいものの見方や考え方を生み出したり考えを深めたりする。終末場面の振り返りでは、交流メモを見直ししながら、改めて自分の考えを記入させることで、道徳的価値の深まりを実感させる。ここでは特に、テーマについて自分のこととして考えさせる発問をする。ワークシートに、テーマに対する導入時の考えと終末時の考えを記入させる。新たな視点や考えの深まりを実感させたい。

## 7 本時の計画

### (1) 本時の指導に当たって

導入では、本時で扱う道徳的価値「『よりよく生きる』とはどのようなことだろう」をテーマとして考えさせる。事前にとったアンケートの「よりよく生きる」とはどのようなことかについての回答をいくつか紹介する。また、「自分には弱いところがあるか」についても質問し、自分だけが弱いのではないことに気付かせ、教材に入っていく。

展開前段では、まず、主人公エイミーの生き方についてどう思うかを問い、弱さやそれを乗り越えることについての生徒の考えを捉える。次に、自分の弱さを克服したエイミーの心情を考えさせることで、人として自分に恥じない生き方をし、弱さを乗り越えようとする強さがあることに気付かせ、そのような姿に共感させたい。中心発問の「エイミーが、ドーピングを告白したのはなぜだろう」では、主人公が弱さを克服した理由について、4人グループでの交流から、全体での意見交流という流

れで互いの考えを共有していく。様々な視点や価値から考えさせるために、発問に対する自分の考えを思いっただけキーワードでメモをさせる。その後、4人グループ内で友達と意見交流をする。自分にはなかった考えや深く考えていると感じたものをメモさせる。自分の考えと友達の考えの両方のメモを活用し、参考にしながら改めて自分の考えを文章で書かせる。最後に、全体の間での共有を図る。出された多くの考えの異同を整理、再考させ、新しい見方や考え方を生み出したり、考えを深めたりする機会にしたい。

展開後段では、教材を通して学んだ、自分の弱さを克服することが「よりよく生きる」ことにつながることを自分のこととして考えさせる。教材では、主人公エイミーにとっての「よりよく生きる」姿は、真実を告白し、自分の弱さを克服できたことだと実感させる。その上で、「自分にとって『よりよく生きる』とはどのようなことだろう」を問う。導入時に書いたテーマの捉えと終末時における捉えを比較できるようワークシートに記入させる。道徳的価値についての深まりについては、交流を通して参考にしたキーワードの有無、交流したことで新たに再考したことがあったかどうかで実感させたい。導入段階の自分の考えから深まりがあったかどうか振り返ることで、人間として生きることの喜びをより強く実感させたい。

(2) 指導過程（別ページ参照）

(3) 本時の評価

自分の弱さに向き合い、それを乗り越えた主人公の気持ちを考え、伝え合う中で、なぜ、自分の弱さを克服できたのかについて多面的・多角的に考えることができたか。（ワークシート・発言）

(4) 教材名 「本当の私」（東京書籍 新しい道徳2）

(5) 教材観

本教材は、アメリカで実際にあった事件に着想を得て創作したものである。幼い頃からの夢であった世界陸上100M金メダル獲得を成し遂げた主人公エイミーだが、使用していたサプリメントがドーピングに当たる可能性があることを知り、一旦使用をやめるが、再度手を出してしまい、世界選手権2連覇を成し遂げる。しかし、その後、後悔や罪悪感を抱いていたエイミーが、真実を打ち明ける内容である。エイミーがドーピング使用の告白に至った理由を考えさせることで、人間が自分の弱さを克服し、人間が持つ強さや誇りを持って生きること気付くことができる教材である。

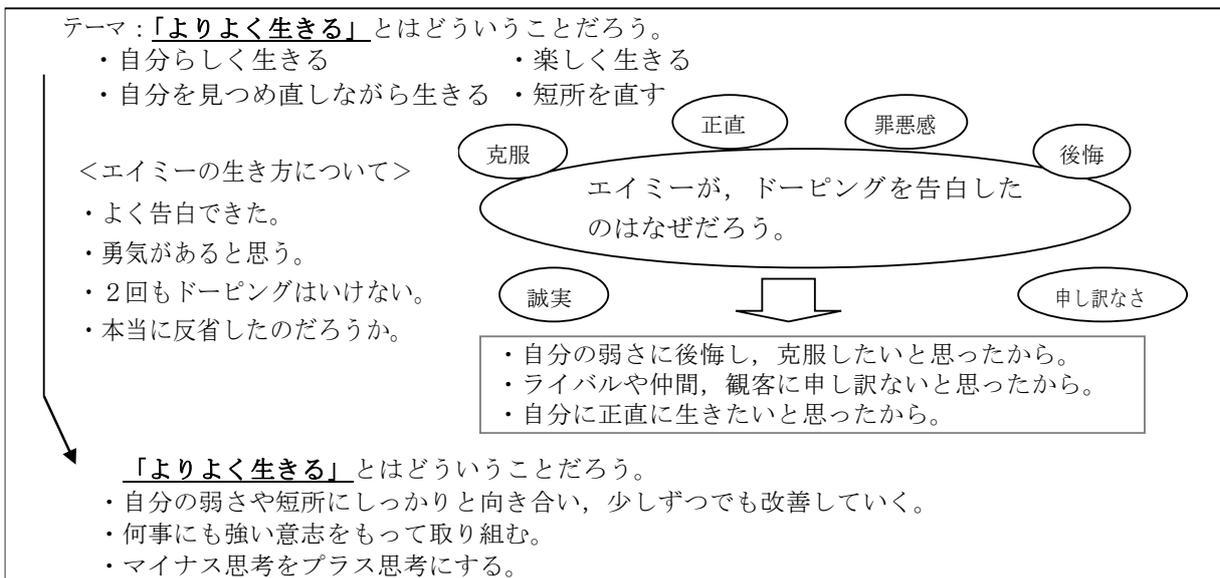
(6) 準備物

教師：教科書、i-pad、ワークシート、座席表 生徒：教科書

(7) 他の教育活動との関連（別ページ参照）

(8) 教材分析・発問構成表（別ページ参照）

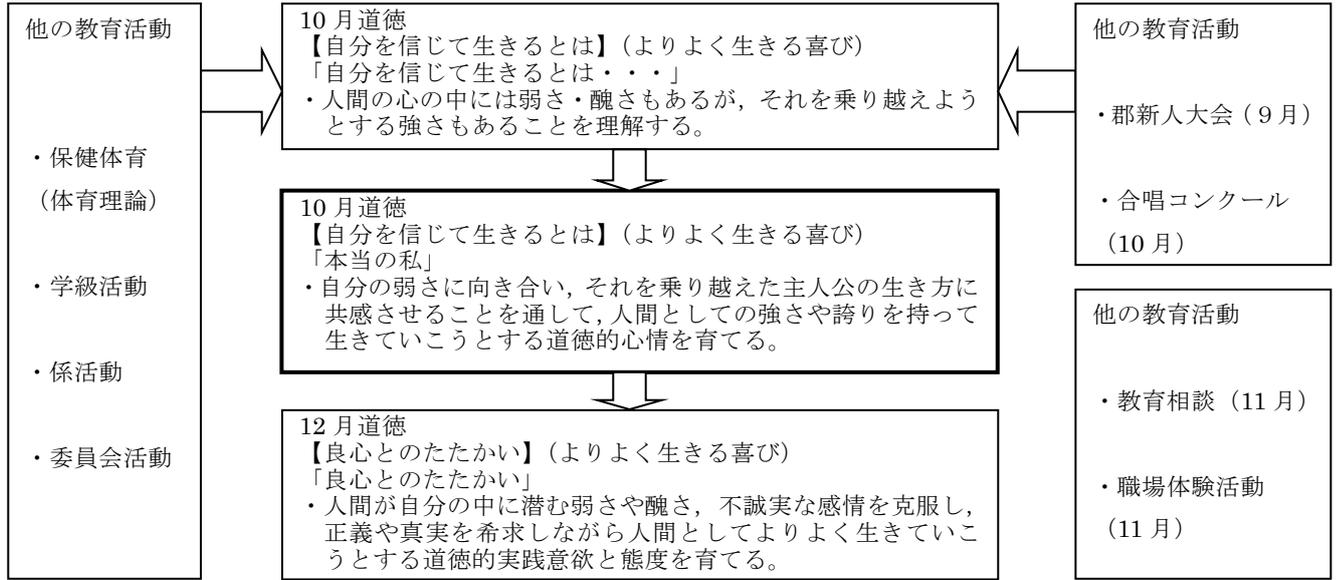
(9) 板書計画



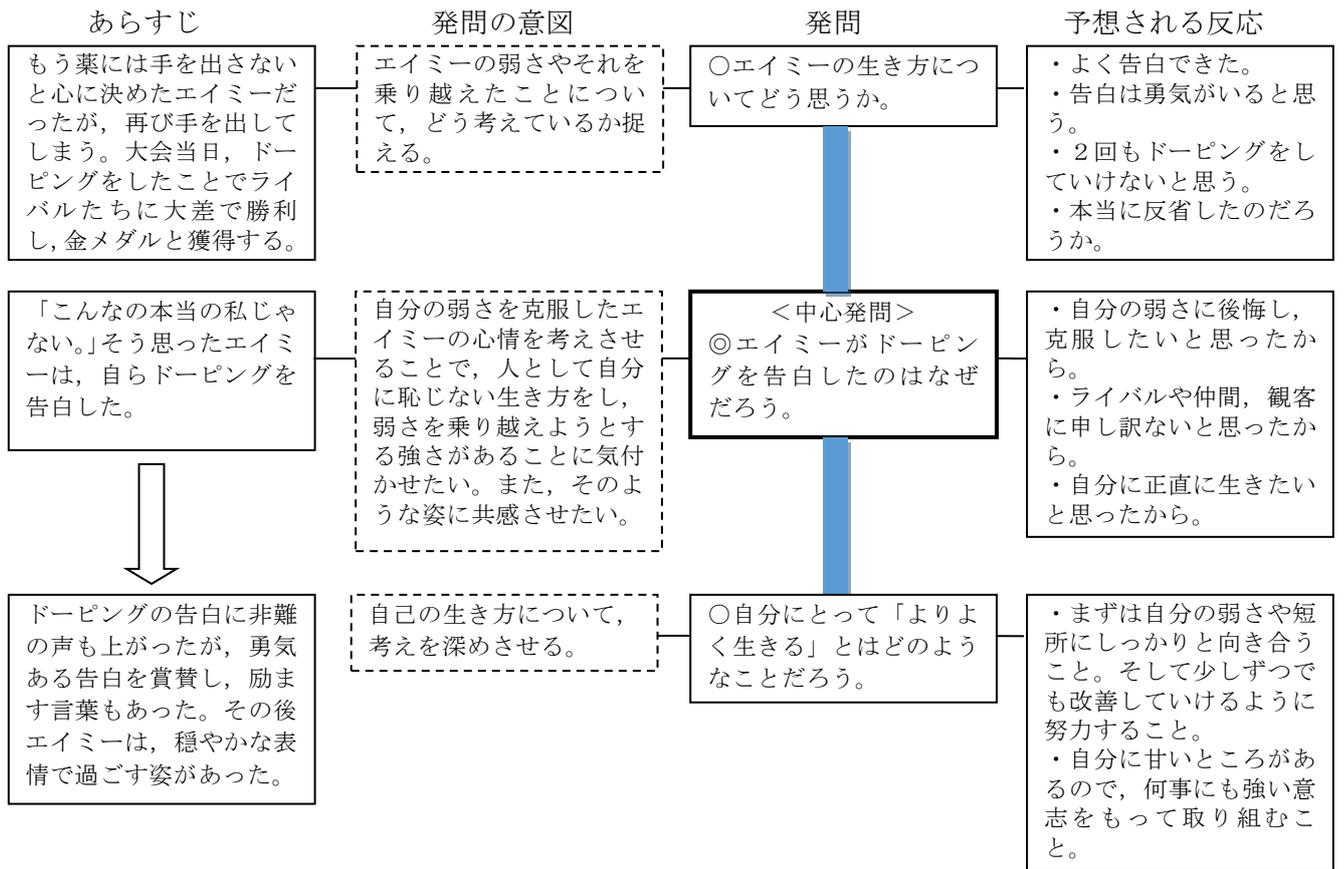
(2) 指導過程

| 段階          | 学習活動                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 形態                                                                      | 指導上の留意点（評価）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 導入<br>10分   | <p>○主な発問（◎中心発問）・予想される反応</p> <p><b>1 課題（テーマ）をつかむ。</b></p> <p>○「よりよく生きる」とはどのようなことだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分らしく生きる。</li> <li>・楽しく生きる。</li> <li>・自分を見つめ直しながら生きる。</li> <li>・短所を直す。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 一斉                                                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートに自分の考えを記入させ、数名に発表させる。</li> <li>・本時のテーマについて問題意識を持たせるために、「よりよく生きる」とは何かについてのアンケート結果を提示する。</li> <li>・「自分には弱いところがあるか」についてのアンケート結果を提示し、教材との関連を図っていく。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 展開前段<br>20分 | <p><b>2 範読を聞き、エイミーの生き方について考える。</b></p> <p>○エイミーの生き方についてどう思うか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・よく告白できた。</li> <li>・告白は勇気がいると思う。</li> <li>・2回もドーピングをしていけないと思う。</li> <li>・本当に反省したのだろうか。</li> </ul> <p><b>3 主人公がドーピングを告白した理由を考える。</b></p> <p>◎エイミーがドーピングを告白したのはなぜだろう。</p> <p>&lt;メモを活用させて交流した際の考え&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・申し訳なさ</li> <li>・誠実</li> <li>・罪悪感</li> <li>・克服</li> <li>・後悔</li> <li>・正直</li> </ul> <p>&lt;交流後の考え&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の弱さに後悔し、克服したいと思ったから。</li> <li>・ライバルや仲間、観客に申し訳ないと思ったから。</li> <li>・自分に正直に生きたいと思ったから。</li> </ul> | <p>ペア<br/>↓<br/>一斉</p> <p>個<br/>↓<br/>グループ<br/>↓<br/>個<br/>↓<br/>一斉</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・範読前に登場人物やドーピングの意味についてモニターで提示することで、円滑にストーリーを掴ませる。</li> <li>・主人公の弱さやそれを乗り越えたことについて、生徒の考えを捉える。</li> <li>・すぐにペアで交流させることで、形式的な意見交換ではなく、率直な自分の考えを言い合える雰囲気をつくっていく。</li> <li>・様々な視点や価値から考えさせるために、考えや気付きをキーワードで多く出させるようにする。</li> <li>・交流の際、自分にはなかった考えを書き足させる。</li> <li>・キーワードを手掛かりに、詳しく自分の考えを説明させる。</li> <li>・交流後、得られたメモを基に、自分が考えた内容を再考させ、告白した理由を改めて文章で書かせる。</li> <li>・数名に発表させ、全体で共有する。</li> </ul> <p>（評価）自分の弱さに向き合い、それを乗り越えた主人公の気持ちを考え、伝え合う中で、なぜ、自分の弱さを克服できたのかについて多面的・多角的に考えることができたか。（ワークシート・発言）</p> |
| 展開後段<br>10分 | <p><b>4 「よりよく生きる」とはどのようなことか自分のこととして考える。</b></p> <p>○自分にとって「よりよく生きる」とはどのようなことだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まずは自分の弱さや短所にしっかりと向き合うこと。そして少しずつでも改善していきえるように努力すること。</li> <li>・自分に甘いところがあるので、何事にも強い意志を持って取り組むこと。</li> <li>・マイナス思考なところを少しでも変えて、プラス思考にすること。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 一斉                                                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の弱さを克服することが「よりよく生きる」ことにつながることに気付かせる。</li> <li>・「よりよく生きる」とはどのようなことかについて考えに深まりがあったかどうか、メモを見直すことで導入時の考えと比較させる。</li> <li>・道徳的価値について考えが深まったかどうかは、参考にしたキーワードがあったかどうか、新たに再考したことがあったかどうかで実感させる。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 終末<br>10分   | <p><b>5 本時の学習を振り返る。</b></p> <p>○授業で考えたことや気付いたことについて振り返ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートに本時の感想と振り返りを記入する。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 一斉                                                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の生き方について考えを深めさせるために、書く時間を確保する。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |

(7) 他の教育活動との関連



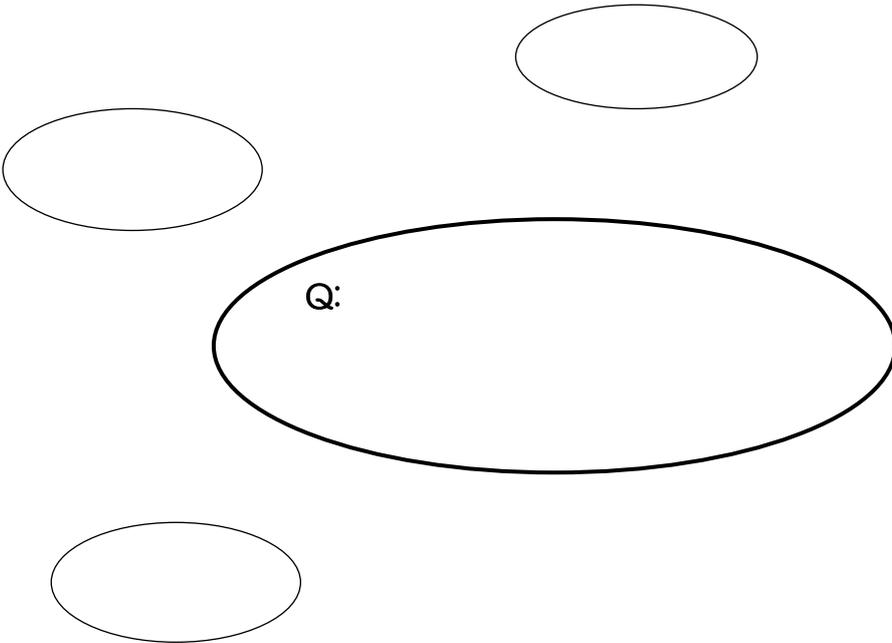
(8) 教材分析・発問構成表



教材名：「 」

年 組 番 氏名

○本時のテーマ：「 」  
 <自分の考え①>



【気付いたことなど】

.....

.....

.....

.....

.....

.....

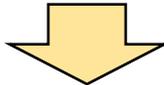
.....

.....

.....

.....

<あなたの考え>



.....

.....

.....

<自分の考え②>

<本時の振り返り>

|                                |         |
|--------------------------------|---------|
| 友達の考えを聞いて、自分の考えを広げることができたか。    | 4・3・2・1 |
| 価値（テーマ）について、深く考えることができたか。      | 4・3・2・1 |
| 教材は価値（テーマ）について考えやすいものだったか。     | 4・3・2・1 |
| 今日の学習全体を通して感じたこと、考えたことを書きましょう。 |         |
| .....                          |         |
| .....                          |         |
| .....                          |         |